学習状況診断票（国語）　小学校　第5学年

５年　　組　　番　　名前

領域	問題番号 大問	問題番号 小問	問題番号 通番	出題のねらい	評価の観点 聞く能力	評価の観点 書く能力	評価の観点 読む能力	評価の観点 言語事項
話すこと・聞くこと	一	一	1	話し手が伝えようとしている内容の中心を正しく聞くことができる。				
		二	2	分かりやすく伝えるために，話し手がどんな工夫をしているかを考えながら聞くことができる。				
		三	3	話し合いで発言された意見の内容を正しく聞くことができる。				
		四	4	話し合いの進め方の工夫を正しく聞くことができる。				
書くこと	二	一	5	文章の内容に応じて，小見出しを書くことができる。				
		二	6	目的や様式に応じて必要な事柄を選んで，文章を書き換えることができる。				
読むこと	三	一	7	筆者が説明している内容について，正しく読むことができる。				
		二	8					
		三	9	事実と意見の関係をとらえて読み，筆者の意見を要約することができる。				
		四	10	分かりやすく伝えるための筆者の書き方の工夫を考えながら読むことができる。				
書くこと	四		11	表をもとにして，書く必要のある事柄を選び，表から分かることとそれについての考えや理由を区別して書くことができる。				
言語事項	五	(1)	12	５年生までに習った漢字を正しく読むことができる。				
		(2)	13					
		(3)	14					
		(4)	15					
		(5)	16					
	六	(1)	17	４年生までに習った漢字を正しく書くことができる。				
		(2)	18					
		(3)	19					
		(4)	20					
		(5)	21					
	七	(1)	22	文の前後の関係をとらえ，正しい接続語を選ぶことができる。				
		(2)	23	仮名づかいのきまりにしたがって，正しい仮名づかいを選ぶことができる。				
					/4	/3	/4	/12

今後の学習に向けて　＊自分ががんばりたいところに○を付けたり，下線を引いたりしましょう。

	「聞くこと」の力を身に付けるために	・「どのような考えが，どのような理由で話されているかを考えながら聞く」「自分の考えと，どこが同じで，どこがちがうかに注意して聞く」「話し方や話し合いの進め方の工夫を考えながら聞く」など，国語の授業で学習した聞き方について，復習しましょう。 ・国語の授業で学習した聞き方を，授業中の先生や友だちの話を聞くときや家の方の話を聞くときなど，毎日の生活でも生かしましょう。
	「書くこと」の力を身に付けるために	・最初に，どのような考えを書くのかをはっきりさせましょう。その上で，自分の考えを分かりやすく伝えるために，事実と感想，意見などを分けて書くようにしましょう。 ・一度書いた文章を，読む人になったつもりで読み返し，伝わりにくいところを書き直す習慣をつけましょう。 ・家庭においても教科書の文章を視写したり，日記を書いたり，新聞を読んだ感想をまとめたりするなど，自分が毎日できる書く学習を決めて取り組みましょう。また，書いた文章を家の方にも読んでもらい，よりよい文章になるように教えてもらいましょう。
	「読むこと」の力を身に付けるために	・説明文を読むときには，まず，大まかな内容をつかみましょう。そして，書かれている内容について，事実と感想，意見の関係をとらえ，自分の考えをはっきりさせながら読んでいきましょう。 ・文章を読み取る学習で，自分の考えを進んで発表したり，友だちの考えと比べて聞いたりしながら，自分の考えを深めるようにしましょう。 ・家庭においても，国語の教科書を何度も声に出して読んだり，授業の内容をまとめ直したり，ノートに読み取ったことを書いたりするなどの学習に取り組みましょう。 ・学校や地域の図書館へ出かけ，いつも読みたい本を持ち，学校や家庭で進んで読書をしましょう。
	「言語についての知識」を身に付けるために	・国語の時間に学習した漢字を中心に，読んだり書いたりする練習をくり返し行い，確実にできるようにしましょう。特に，家庭学習において，計画を立てて練習しましょう。また，分からない漢字は，進んで辞書などで確かめましょう。 ・家庭学習や日常生活の中で，書く習慣を身に付けるようにしましょう。その際，いろいろな場に応じて，正しい文やかなづかいで書けるようにすることも重要です。